

あんしん便り

第28号



11月7日に立冬を迎え、暑さを感じた日々から一転、風に震える様になりました。

気温の落差が激しいため体調を崩す方も増えておりますが皆様は大丈夫でしょうか。かく言う私も先日風邪をひいてしまい、治すのに四苦八苦しておりましたが。

予報や体感では夏からいきなり冬が来た。折角の秋が無かった…との声をよく耳にしますが、暦と自然は不思議と矛盾なく流れていますよね。

折角ですので暦から少しご紹介を。

二十四節気
立冬
11/7
11/21
頃

七十二候

初候 11/7~11/11頃

山茶始開 つばきはじめてひらく

つばきとなっていますが山茶花の咲き始める頃

次候 11/12~11/16頃

地始凍 ちはじめてこおる

霜が降り、場所によっては霜柱がみられます

末候 11/17~11/21頃

金盞香 きんせんかさく

水仙の花が咲き始める頃

“きんせんか”となって

いますがこれは水仙の花を表しています



立冬などの二十四節気は有名ですが、そこから更に三つに分かれ**七十二候**となることはご存知でしょうか。

気象や動植物の変化を知らせる短文が名前になっていて、その時期を象徴する内容になっています。

ちょうど立冬の初候を迎えた頃に庭の山茶花が鮮やかに咲いていて、正に「**山茶始開**」でした。

身近なカレンダーも一歩踏み入れてみると興味深い話がたくさん載っています。

来年のカレンダーはどんなものにされますか？

交通事故が多発 しています！

目の前に警察署がある当院では、残念なことにパトカーのサイレンを聞かない日はほとんどありません。

全国的にも大きな事故が多く、とうとう先日警察署に注意喚起の立て看板が設置されました。

お坊さんも走ると言われるだけあって、皆が慌ただしくなる年の瀬は交通事故の件数が一年で最も多くなる時期です。

歩行者、運転手お互いに注意して過ごしていきましょう。



これからの時期 **感染症** が猛威を振るう時期です。

宮崎県感染症発生動向調査によると、インフルエンザの流行はまだ無いものの、**感染性胃腸炎**と**手足口病**が県央・県南地域で流行しているようです。

手足口病は初めに口に痛みと水泡が出て、手・足に広がっていきます。熱が出るイメージを持っている人も多いですが熱が出ないこともあるのでご注意ください。

感染性胃腸炎は主にノロやロタといったウイルスによる感染症で、秋から冬にかけて流行します。

まさにこれからが本番です。

吐き気、嘔吐、下痢、発熱、腹痛などの症状がある場合は「もしかしたら？」と疑ってみて下さい。

うつされない予防も大切ですがいざ体調を崩してしまったときは“うつさないための予防”も重要です。

人が集まる機会も増えますので無理せず楽しく冬を乗り切りましょう。

